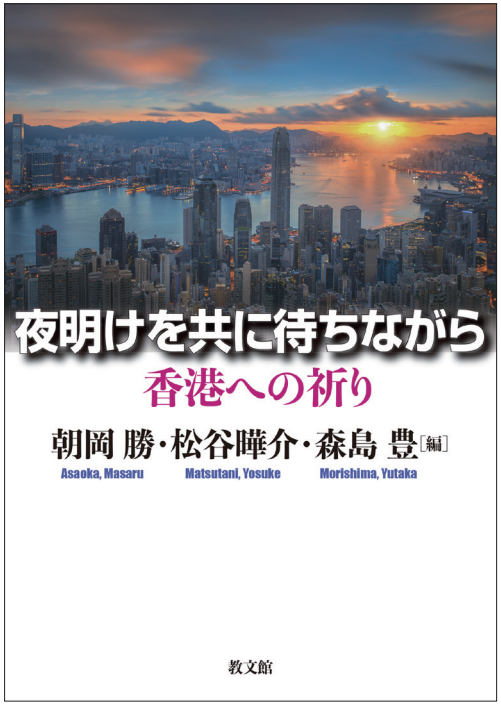
夜明けを共に待ちながら

香港への祈り

朝岡 勝・松谷曄介・森島 豊❖編



香港と日本の祈りが一つになった！

国家安全維持法下で揺れ動く香港のために、12人の牧師を中心に祈りの運動が立ち上がった――。2020年10月31日から始まった「香港を覚えての祈禱会」。説教と祈りによる新しい教会的政治運動の姿がここに！　日本キリスト教史における画期的な祈りの運動の軌跡。

「香港を覚えての祈禱会」呼びかけ人（五十音順）

①朝岡勝（日本同盟基督教団）、②大石周平（日本キリスト教会）、③大嶋重徳（日本福音自由教会）、④大西良嗣（日本キリスト改革派教会）、⑤伽賀由（日本メノナイト教会）、⑥唐澤健太（カンバーランド長老教会）、⑦平野克己（日本キリスト教団）、⑧星出卓也（日本長老教会）、⑨増田将平（日本キリスト教団）、⑩三輪地塩（日本キリスト教会）、⑪松谷曄介（日本キリスト教団）、⑫森島豊（日本キリスト教団）。

❖編者紹介　**朝岡 勝**（あさおか・まさる）　1968年生まれ。現在、東京キリスト教学園理事長・学園長。著書　『教会に生きる喜び――牧師と信徒のための教会論入門』（教文館、2018年）ほか。
松谷曄介（まつたに・ようすけ）　1980年生まれ。現在、金城学院大学准教授・宗教主事。著書　『日本の中国占領統治と宗教政策――日中キリスト者の協力と抵抗』（明石書店、2020年）ほか。
森島 豊（もりしま・ゆたか）　1976年生まれ。現在、青山学院大学教授・大学宗教主任。著書　『抵抗権と人権の思想史――欧米型と天皇型の攻防』（教文館、2020年）ほか。

A5判・並製・188頁・定価1,980円（本体1,800円+税）　ISBN978-4-7642-7461-7　C0016